別紙様式２

2011 年　　11 月　　3 日

島根大学長　殿

機関名・職名
研究者名（代表者名）
寧夏大学農学院・講師
葉　林　　㊞

２０１１年度研究奨励助成 研究報告書

研　究　分　野 （該当分野を○で囲んでください。）	①．寧夏南部山区と日本の中山間地域の持続的可能な発展に関する研究 ２．生態系・環境の保護と再生に関する調査研究 ３．農業経済と社会発展の比較に関する調査研究
研　究　課　題	寧夏南部山区の日光温室栽培に適したスイカ台木選別試験に関する研究
研究者の連絡先	
実　施　期　間	2011 年　　1 月　～　2011 年　　11 月

研究の実績・成果の概要

1、2011 年 1～2 月「美利堅」「金鋼」「嫁得金」「抗病金鈷」という四つの品種を収集。

2、2011 年 3 月、寧夏固原市原州区三営鎮新三営村の現代農業師範園の温室で西瓜の苗を定植し接木。

3、2011 年 3 月～7 月、西瓜植物体のサンプリングをし、データの収集と記録。

4、2011 年 8 月～10 月、データ分析。結論：(1) 四つの接木台木のうち、「嫁得金」と「金鋼」は接木の親和力が高く、病害に強く、西瓜の品質が良いという長所があり、接木の生長を強め、西瓜の生産量を大幅に高めることができる。西瓜接木の生長の強さは、接木苗の根系が営養元素をよく吸収し、葉がの光合成能力が高いことと関係している。(2) 総合表では、四つの接木台木全てにおいて、生長、品質、生産量のどの値についても西瓜の自根苗よりも高い結果となり、接木台木の優勢が証明された。本試験は日光温室栽培条件下で、挿接法を利用して進めたが、異なる台木の接穂の組合せは接木の接ぎ方の強い影響を受ける。異なる気候条件、季節、地域、栽培条件、及び西瓜の接穂品種に適する台木をどのように選別し、西瓜の接木栽培生産に利用するかが次の研究課題である。

5、2011 年 11 月、「寧南山区における日光温室西瓜台木の選別試験に関する研究」という論文を国内自然科学核心期刊である「北方園芸」（待刊）に投稿した。

経 費 内 容

区　分	金額（単位：円）	備　　考
１．　雑費	10,349.93	ミネラルウォーター等
２．　消耗品費	139,650.07	実験用器材，種子等
３．　通信運搬費	0.00	
４．　図書費	0.00	
５．　福利厚生費	0.00	
６．　旅費交通費	0.00	
７．　報酬委託手数料	0.00	
合　計	150,000.00	